

活動状況

★ 松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト2009

しまねOSS協議会と松江市は、オープンソースのさらなるビジネス活用を目的とした「松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト」を開催し、先日2月20日に本コンテストの入選者によるプレゼンテーション&最終審査会が行われました。

第1回目となる今回は、昨年11月から1月13日の期間に募集を行い、全国からビジネス活用部門11件、学生部門12件のビジネスプランが集まりました。最終審査会では、それぞれの部門から4件の入選者がプレゼンテーションを行い、審査委員による質疑応答も行われました。

ビジネスプランは、応募者それぞれの問題意識や活動フィールド、現在開発している技術等をベースにしたもので、それぞれに大変興味深いものでした。審査委員の方々も「点数をつけるのは大変苦労した(井上浩 実行委員会委員長)」とのこと。応募プランの事前審査とプレゼンテーション審査を総合して最優秀賞、優秀賞、奨励賞が決定しました。

ビジネス活用部門の最優秀賞は、有限会社クラフト(取締役社長 田口和生氏)の「音声通信(電話)によるマルチキャスト配信サービス」が受賞。電話で複数の相手に対する伝言を一齐に配信するシステムで、オープンソースのIP-PBXソフト「Asterisk」をカスタマイズして開発するビジネスプランです。

学生部門の最優秀賞は、島根県立松江商業高校 情報処理科3年生の今村彩さんによる「わんわんシッター」。ペット愛好家とペットシッターをSNSというコミュニティによって繋ぐサービスで、RubyをベースにしたSNS「SKIP」の活用を想定したビジネスプランが受賞しました。

審査会終了後の表彰式では、それぞれの審査委員からのあたたかい講評も有り、また、松浦正敬 松江市長からも今後のビジネス展開とオープンソースの活用にエールが送られました。

第2回の募集期間は未定ですが、今後もオープンソースの活用を松江・島根から盛り上げていくべく、協議会としても今回のコンテストのような企画を是非継続して行っていきたいと思います。(丹生)

* 受賞ビジネスプランの概要、審査会・表彰式の模様は、以下のWebページをご参照ください。

<http://www.shimane-oss.org/biz-contest2009/>



今後の予定

★ 「オープンソースカンファレンス 2009 Shimane」

日時 : 2009年5月16日(土)

会場 : 松江テルサ 大会議室ほか

* 詳細は左記URLにて公開中 <http://www.ospn.jp/osc2009-shimane/>

去年に引き続き、今年もまたやります。県内外からオープンソースソフトウェアに一言を持つ人達が集まり、最新のオープンソース事情に触れるまたとない機会です。

昨年参加された方も、参加されなかった方も、5月16日は松江テルサに集合!(木村)

県内のオープンソースに関する動向

★ 松江市中学生Ruby教室

松江市はRubyユーザーやエンジニアの裾野を広げるため、次代を担う少年少女たちにRubyの魅力を伝える試みとして、1月25日と3月1日の二回にわたって中学生Ruby教室を開催したので報告します。

松江市内の中学校の協力を得て、1年生から3年生の全生徒にチラシを配布し募集したところ、15人の定員に対して32人の申込があり、急遽2回目を追加開催する人気教室となりました。



メイン講師は、NaClの高尾氏、サブ講師陣も同社の若手エンジニア5名！という信じられない豪華さ。皆さん慣れない中学生を相手に献身的に指導してくださいました。

2回合わせて21人の中学生が参加した教室は、パソコンを分解して中身を見せながら仕組みを説明したり、プログラムとは手順をコンピューターにわかるように指示するもの、といった説明から始まりました。

実技では、子ども用のプログラム学習ツール「Shoes」を活用し、図形を描いたりスロットなど動きのあるプログラムをRubyの文法でつくる体験をしました。最初は、示されたお手本を各自が打ち込み動くことを確認すると、次は自分で思うようにアレンジすることに挑戦です。一字足りなくて動かないなど苦労しつつ、講師陣のサポートを受けながら試行錯誤を繰り返し、うまく動くと「ヨッシャ」と小さな歓声もあがっていました。

作ったプログラムは代表者が全員の前で披露し、改造の意図や苦労した点などを発表すると大きな拍手が送られていました。



最後に講師から、プログラミングの仕事やエンジニアとして働くことについてお話があって教室は終了しましたが、参加した子どもたちからは、「プログラムがどうやって作られているか分かった」「難しかったけど、出来たときの達成感がすごかった」「将来こういった仕事も面白そうだ」といった感想が寄せられました。(土井)

編者後記

・お気に入りのオープンソースソフトウェア紹介

最近、僕が色々なところで使っている便利なOSSを一つ紹介します。

Inkscape (<http://www.inkscape.org/>)

これは、一般的にドロー系と言われる図形作成ソフトウェアで、対比される商用ソフトウェアとしてはAdobe社のIllustratorが挙げられます。Linuxはもちろん、WindowsやMacでも動作します。作成した図形をWMF形式やEPS形式で保存し、一般的なOfficeソフトで読み込むとなかなか見映えのする文書が作れます。慣れるまでには多少の努力を要しますが、Officeソフトの貧弱な図形作成機能を良く補完し、綺麗な資料を作成するのに役立ちます。

もしOfficeソフトの図形機能に不満のある方は試してみてもいいのではないでしょうか。

では次回、第四号は6月頃の発行予定です。(木村)